

日本ニュージーランド学会

Newsletter No. 89

August 13, 2014



暦の上では立秋を迎えましたが、いまだ残暑の厳しい毎日が続いております。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

6月に開催されました第21回研究大会（於：NZ大使館）には、多数の会員の皆様にご参加いただき、盛会となりました。当日、ご挨拶を頂戴したMark Sinclair大使、Janet Lowe公使、準備の段階からご協力いただきました宮崎智世様（NZ大使付エグゼクティブ・オフィサー）には心より御礼申し上げます。

10月には、第69回研究会（NZ学会と東北公益文科大学NZ研究所との合同研究会）が岐阜大学で開催を予定しております。多くの皆様のご出席をお待ちしております。

● 新執行部の紹介

6月21日に在日本NZ大使館にて開催されました第21回総会で新執行部体制が承認されましたのでご報告申し上げます。

顧問：小松隆二（白梅学園大学）

会長：山岡道男（早稲田大学）

副会長：水野伸夫（日本大学）

渡辺宥泰（法政大学）

事務局長・会計：新井正彦（江戸川大学）

学会誌担当：武田真理子（東北公益文科大学）

◇ 新会長挨拶：山岡道男

前年度（2013年度）は、在外研究のために1年間、オークランド大学NZアジア研究所に訪問学者の資格で滞在し、NZでの生活を満喫しながら、執筆活動や現地調査に専念できたことは、貴重な時間でありました。また、約10年前にも在外研究で、11ヵ月間に渡りオークランドに滞在していましたので、この10年間の移り変わりを現地に住んで体験できたことは、良い機会でした。2回の在外研究の間にも、毎年オークランドを中心に

NZを訪問し、現地に8つある全ての大学の先生方から、幸いにも知遇を得ることができました。こうして培われた様々なネットワークを活用して、本学会での活動に役立てたいと思っております。

本学会は創設以来21年目を迎え、これまで学会を立ち上げ、また20年間に渡り学会を支えていただいた先生方に感謝をすると同時に、次の20年間で、どのように発展させていくかを考えなければなりません。そこでは、伝統を生かしながら、同時に時代の要請に応じていくという2つの活動方針の下で、学会のかじ取りをしていかなければなりません。幸いにも、次世代を担う多くの若いメンバーの方々が研究者として、また事務担当者としても学会を支えてくださり、頼もしい限りであります。また、近接する学会（NZ学会：植村善博会長、東北公益文科大学NZ研究所：和田明子所長）や協会（日本NZ協会：山崎弘子会長）との協力関係も着実に進んでおり、将来が楽しみです。

今後は、会員の皆様方のご意見を伺いながら、学会の発展のために努力する所存でありますので、ご支援とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

.....

● 報告：

1. 第21回研究大会・総会

2014年6月21日（土）在日本NZ大使館にて開催いたしました。

第1報告（13:05-13:50）

山岡道男（早稲田大学）

「ニュージーランド人で、太平洋問題調査会関係者であったベラ・ヘイの生涯」

第2報告（13:50-14:35）

遠藤哲也（元駐NZ日本大使・日本国際問題研究所）

「日・NZ関係の過去、現在、未来」

第3報告 (14:45-15:30)

Paul Dalziel (Lincoln University)

“Regional Development after a Natural Disaster:
Lessons from the Canterbury Earthquakes in
New Zealand”

第4報告 (15:30-16:15)

宮崎智世 (在日本 NZ 大使付エグゼクティブ・
オフィサー)

「東日本大震災被災児童自立支援プロジェクト『Support Our Kids』: NZ 大使館としての取り組み」

* 第4報告終了後、総会が開催されました (司会: 山本光 (横浜国立大学))。

.....

☆ 第21回研究大会・総会を振り返って: 渡辺 宥泰 (法政大学)

時折薄日も差す梅雨の中休み、赤松を配した庭園を望む NZ 大使館の Main Drawing Room にて開催されました。TPP 交渉が大詰めを迎えた多忙な時期にも関わらず, Mark Sinclair 大使と Janet Lowe 公使からは特別に歓迎のご祝辞をいただきました。光栄のみぎりです。日本 NZ 学会会員の他, 日本 NZ 協会会員, NZ に造詣の深い一般聴講者・学生など, 参加者の総数は 55 名に達しました。各報告とそれに続く質疑応答は, 日英両言語によるバイリンガル環境で行われ, NZ 研究への関心の高さと共に, 国際共通語としての英語の使用を再認識する機会となりました。

ご自身の報告に加え, 会場準備に多大なご尽力を賜った宮崎様 (NZ 大使館) と開催にご支援いただいた日本 NZ 協会の方々には, ここに記して感謝申し上げます。

2. 第69回研究会 (NZ 学会・東北公益文科大学 NZ 研究所との合同研究会)

日時: 2014 年 10 月 11 日 (土)

場所: 岐阜大学 (〒501-1193 岐阜市柳戸1番1) 地球科学部第一会議室 (A 棟1階)

テーマ: 「ニュージーランド研究の現在」

13:00 開会挨拶 植村善博 (NZ 学会会長・
佛教大学)

13:10 塩田晴康 (NZ 学会・塩野香料 (株))
「香りの分析研究から NZ へ」

14:00 山岡道男 (日本 NZ 学会・早稲田大学)
「写真と動画で見るピーター・バック
(テ・ランギ・ヒロア): 現地調査」

14:50 アフターヌーン・ティー (事務連絡)

15:10 和田明子 (東北公益文化大学 NZ 研究所)
「キー政権下の公的部門改革」

16:00 討論

16:30 閉会挨拶 渡辺宥泰 (日本 NZ 学会副
会長・法政大学)

*** 日本 NZ 学会会員で参加を希望される方は, 参加費・資料代として現地にて 500 円をお支払いください。また, 合同研究会と懇親会 (鵜飼観覧) に参加する方は, 直接, 岐阜大学の近藤真先生 (合同研究会の担当責任者) にメール (mkondo@gifu-u.ac.jp) か, 携帯電話 (070-5408-9840) で連絡をお願いします。**

* 懇親会 (鵜飼観覧) 等の詳細につきましては, 同封の資料「2014 年度全国 NZ 研究 3 団体 10 月合同例会のお知らせ」をご参照ください。

* なお日本 NZ 学会第 2 回執行部会議は, **10:00** より **岐阜大学地域科学部 7 階 71 セミナー室** にて開催いたします。

.....

● 「NZ に関する新刊著書紹介欄」について
会員の皆様により発刊された NZ に関する新刊著書について, ニュースレターに掲載し, 紹介いたします。掲載を希望する方は著者名, 書名, 発行所, 発行年月日を事務局までお知らせください。連絡先: <jsnzs_jimukyoku@jsnzs.sakura.ne.jp>

.....

● 既刊学会誌の閲覧 (下記サイト参照)
日本語:

➤ http://ci.nii.ac.jp/organ/journal/INT1000001506_ja.html

英語:
➤ http://ci.nii.ac.jp/organ/journal/INT1000001506_en.html

.....

● 学会費納入のお願い:
2014 年度 (2014 年 4 月 1 日 - 2015 年 3 月 31 日) の学会費 (4,000 円) の納入をお願いいたします。振込先は以下の通りです。

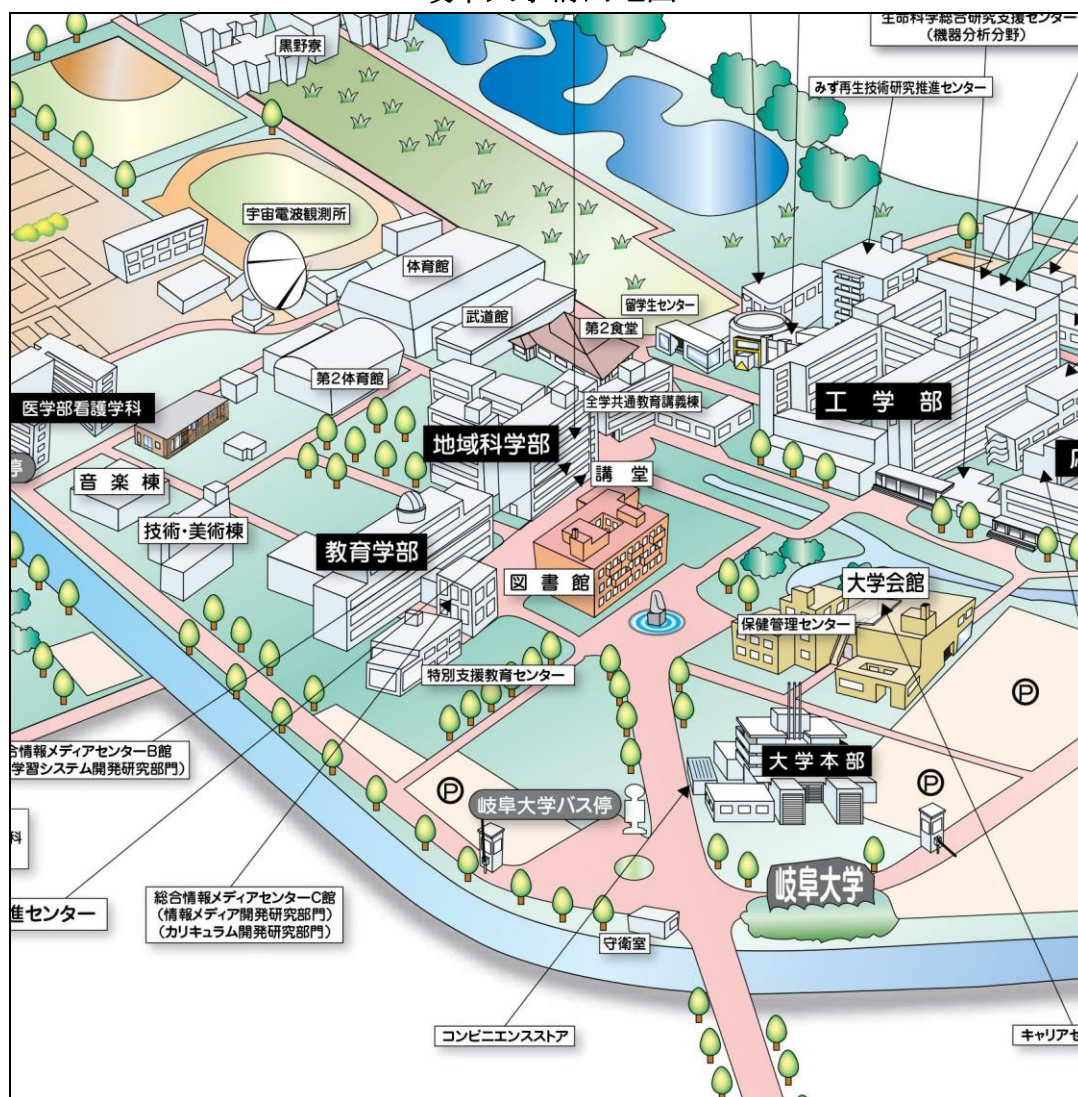
郵便振替 00130-3-425301 日本 NZ 学会

残念ながら、昨年度は会費の納入状況が芳しくありませんでした。お納めいただいた年会費が、研究会や国際シンポジウムの開催、学会誌やニューズレターの発行、ホームページの運営等の活動事業を支えております。学会の健全な財政維持のため、年会費未納の方は過年度分も含め、上記の口座にお振込みくださいますよう、よろしくお願いいたします。



日本ニュージーランド学会事務局：
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田 1-21-1
早大西早稲田ビル 6階 616室
山岡道男研究室内（事務局長：新井正彦）
Phone: 03-5286-1872
Email: jsnzs_jimukyoku@jsnzs.sakura.ne.jp（事務局）
HP: <http://www.japan-nz-academic-society.org/>

<岐阜大学構内地図>



<http://www.gifu-u.ac.jp/images/images/annai/map_annai.gif>

「2014 年度ニュージーランド研究3団体合同例会」の お知らせ

と き 2014 年 10 月 11 日(土) 午後 1:00 から 5:00

ところ 岐阜大学 地域科学部第一会議室(地域科学部 A 棟 1F)

*岐阜大学 (〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1) へのアクセス <<http://www.gifu-u.ac.jp/access/>>

・バス利用：JR 岐阜駅北口バスターミナル 9 番乗り場から『岐阜大学病院線 C70』乗車，岐阜大学にて下車
約 30 分 320 円

*地域科学部の学内マップ <http://www.gifu-u.ac.jp/images/images/annai/map_annai.gif>

*土曜日のため普段は会場が施錠されているが，当日は現地事務局が会場を開けており，問題はないと思うが，岐阜大学は広いので，迷子になったり，入口が見つからなかったりしたときなどは，近藤真の携帯 070-5408-9840 に電話してください。近藤か事務局員(学生)が，救援に駆けつけます。

*参加費・資料代については，学生の参加は無料ですが，3 研究団体の会員は 500 円，そのほかの一般市民は 1000 円を当日受付にて徴収します。

テーマ：ニュージーランド研究の現在

13:00 開会あいさつ 植村善博 (ニュージーランド学会会長・佛教大学)

13:10 I. 研究報告 (各報告 45 分・質疑 5 分)

1. 塩田晴康 (ニュージーランド学会・塩野香料 (株)) 「香りの分析研究から
ニュージーランドへ」

14:00 2. 山岡道男 (日本ニュージーランド学会・早稲田大学) 「写真と動画で見る
ピーター・バック (テ・ランギ・ヒロア)：現地調査

14:50 アフターヌーン・ティー

現地事務局からの連絡 (近藤真 (岐阜大学))

*鵜飼弁当の注文について

15:10 3. 和田明子 (東北公益文科大学ニュージーランド研究所)

「キー政権下の公的部門改革」

16:00 II. 討論

16:30 閉会あいさつ 渡辺宥泰 (日本ニュージーランド学会副会長・法政大学)

事務局連絡 近藤真 バスの時刻について

16:40 終了・撤収

17:15 岐大バス停

17:19 or 18:09 長良北町経由 領下 (りょうげ) 三宅行き出発

17:40 or 18:30 「長良橋」(鵜飼船乗り場前)下車

18:30 鵜飼乗船場 集合

*岐阜市鵜飼観覧船事務所 (TEL : 058-262-0104 HP : <http://www.ukai-gifucity.jp/ukai/>)

18:45 鵜飼船 乗船

*観覧料 3400 円 (岐阜観光コンベンション協会<<http://www.gifucvb.or.jp/sightseeing/ukai.php>>)

*夕食弁当 各自持ち込み可（大学バス停前コンビニあり）。

*「鵜飼弁当」は2000円から事前の注文が必要です。仕出し料理店に各自、電話予約すれば、鵜飼観覧船乗り場まで配達を依頼することも可能です。（魚勝／TEL：058-231-2698 魚光／TEL：058-262-2912 グランド丸金／TEL：058-231-3046）

*鵜飼弁当を現地事務局で用意してほしい方は、弁当代を一律2000円で予約を受付けますので、近藤真070-5408-9840までご連絡ください。支払いは研究会の際に入場時の会場受付で徴収しますので、ご用意願います。

20:30 解散

*鵜飼船の乗船希望者および鵜飼弁当希望者は9/20までに近藤真（Email：mkondo@gifu-u.ac.jp）、まで申込みをお願いします。

理事会の開催： 日本ニュージーランド学会およびニュージーランド学会の各理事会を11日午前10時～12時に予定しています。会議室はお茶の用意ができる便利な地域科学部7階H701（ニュージーランド学会）および71セミナー室（日本ニュージーランド学会）ですので、ご予約おきください。

ホテル・宿泊案内

岐阜が初めてのあなた。お急ぎでなければ、岐阜市内に宿をとって翌日、10/12（日）を、金華山ロープウェイで岐阜城などを見学することをお勧めします。板垣退助遭難の地の銅像や日中友好の中国庭園を有する岐阜公園、明治以来の街並み材木町、歴史博物館など近藤真（岐阜大学）が、案内します。13年前にもニュージーランド学会岐阜例会の際に、近藤が、岐阜城をご案内しましたが、日本ニュージーランド学会や東北公益文科大学の皆さんなど岐阜が初めての人はもちろんのこと、またの人ももう一度ゆっくりといかがでしょうか。

宿は、情緒豊かな老舗旅館「十八楼」（松尾芭蕉の名付けによる）が、一泊1.5万円からで、雰囲気からしてもロケーションからしても長良川温泉（鉄泉）としても最高にお勧めですが、残念ながら7/22現在で、既に、「十八楼」の10/11夜は予約満室でした。（でも日帰り温泉は利用いただけます。）

と言うわけで、一泊する人は、各自、長良川温泉の旅館あるいは市内のビジネスホテルなどを早めに予約してください。下記サイト

<<http://domestic.hotel.travel.yahoo.co.jp/bin/ajsearch?ken=21&larea=2101&marea=210101&tuki=10&hi=10&haku=2&pnum=1&rnum=1&via=inform>>

で検索すると、8/4現在、10/10（金）、10/11（土）の連泊可能な宿は、13軒。10/11（土）一泊だけなら、18軒が可能。ホテルから岐阜大学へバス1本で来られるロケーションにあるホテルは、岐阜駅前にある、温泉のある「ドリーミン岐阜駅前」、ビジネスホテルとしては「ダイワロイネットホテル岐阜」、「岐阜キャッスルイン」「コンフォートホテル岐阜」など多数と柳ヶ瀬にあるホテル、たとえば、教職員共済のホテル「グランヴェール岐山」です。バス代は大学まで340円ほど。タクシー代は3000円ほどかかります。

タクシー（2000円くらい）を使える人は、市内最高ランク天皇家御用達の長良川温泉「岐阜都ホテル」または「岐阜グランドホテル」が、相当値が張りますが、お勧めです。

（ニュージーランド学会）